

# 出光、トヨタ、サントリー 創業家の 作法

今年ほど、「創業家とは何なのか」を考えさせられる年もあるまい。  
出光、ベネッセ、大戸屋では経営を揺さぶった。  
他方、その存在がなければ、トヨタとスズキの提携は実現しなかった。  
創業家という「怪物」は、会社を強くもすれば、存亡の淵にも追い込むこともある。  
古くから続くこの問題に答えを出したキッコーマン。模索が始まったサントリー。  
それぞれの創業家が考える「作法」は、事業継承に悩む中堅企業にも参考になるはずだ。  
=文中敬称略(大竹 剛、松浦 龍夫、林 英樹、飯山 辰之介、鈴木 哲也、井上 久男=ジャーナリスト)

---

PART 1	出光、ベネッセ、大戸屋… 創業者が泣いている ……………	28
PART 2	トヨタとスズキの創業家が決めた 「遺言提携」の舞台裏 ……………	32
PART 3	その決断は「煩惱」か「最善策」か 跡継ぎ選び、私の理屈 ……………	36
PART 4	「大元方」「押し込め」… 専横を防ぐ古の知恵 ……………	40
PART 5	もめない同族企業に学ぶ5つの作法 サントリーが動いた ……………	42

---



